

## 県民の皆様

### あけましておめでとぅございませす

今年の干支は「戌」ですが、犬は聴覚や嗅覚が優れ、また「勤勉で努力家」と言われています。私も、皆様の声をしっかりと聞きし、時代の潮流を的確にとらえながら、栃木県の更なる発展に努めて参ります。県民の皆様にとっても、努力が実り、夢や希望が実現する一年となることを心から願っております。

さて、県では、「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な」とちぎの実現に向け、栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」や、栃木県版まち・ひと・しごと創生総合戦略「とちぎ創生15戦略」に掲げた取組を積極的に展開しています。これらの戦略に基づく施策がより確かな成果に結びつくよう、更に取組を加速させて参ります。

特に、UIJターンの推進や女性活躍の推進、関西圏等における観光や企業誘致に関する情報の発信力強化などに取り組むことにより、「とちぎ創生」の実現を図るとともに、市町との協働による水害対応タムライン（防災行動計画）の作成や妊娠から出産・子育て期までの切れ目のない支援など、安全・安心なとちぎづくりを推進して参ります。

また、いちごの生産量50年連続日本一を契機に、1月15日を「いちご王国・栃木の日」として宣言し、県内各地で集中プロモーションを展開いたします。そして、春には、JRグループと協働で取り組む大型観光キャンペーン「本物の出会い 栃木」デスティネーションキャンペーンが本番を迎えます。国内外から訪れる多くのお客様に栃木を満喫していただき、また訪れたいと思っただけに、心こもった「おもてなし」でお迎えして参ります。

さらに、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、昨年、ハンガリーオリンピック委員会と覚書を締結し、陸上競技の事前キャンプの実施が決定したところですが、今後、ハンガリーとのスポーツ・文化交流などを通じて機運の醸成を図りながら、2022年に本県で開催する第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」・第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」の成功へとつなげて参ります。

すべての分野で「選ばれるとちぎ」の実現を目指し、全身全霊で取り組んで参りますので、より一層の御理解と御支援をお願いいたします。

平成30年1月

栃木県知事 福田富一

とちぎ Prefectural Newsletter of Tochigi

県民だより

2018

1

月号